



「山茶花と雪」 須藤和之 画

―特集「いだてん」―

- ◎活発で利発な少年時代
- ◎オリンピック日本代表選考会で優勝
- ◎「NIPPON」のプラカード掲げ入場行進
- ◎シリーズ群馬の芸術家 橋本 勝氏
- ◎フォトギャラリー 谷川岳
- ◎お客様紹介 箱島湧水発電所 様
- ○名瀑探訪 観音山·不動滝



アクセス JR群馬原町駅より徒歩25分。 渋川伊香保ICより車で東吾妻町まで約40分。





のことを観音山と呼ぶようになったと 地元の人からは親しみを込めて瀧峩山

「和's YAMAIU」の出来 ヤマトの漢字の「和」、Water & Air の頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。 ヤマトが発信するメッセージです。

ゎ゙゙ヺ゙ゃ゙まと 『和's YAMATO』の由来

和'S YAMATO 2019 初春号/2019年1月発行 発行:株式会社ヤマト(広報室) 群馬県前橋市古市町118 TEL.027-290-1891 FAX.027-290-1896

建設プロダクト 🕅 ヤマト

株式会社ヤマト 群馬県前橋市古市町118 〒371-0844 TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896 支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所/軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀 附属施設/大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コン<mark>タク</mark>トセンター、サポートセンター ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

idaten

四三が生まれ育った家の外観

築後約200年以上の建物。

2019年1月から一般公開される。

日本マラソンの父

日本の陸上スポーツに貢献した生涯を描いている。

ンピックに出場したこと、箱根駅伝競走を創ったことなど、

偉業を成し遂げたアスリ

トだ。日本人として初めてオリ

そう)。第二次世界大戦前のオリンピックに三回出場という

した「日本マラソンの父」と称される金栗四三(かねくりし

ピック噺[ばなし]」の前半の主人公は、明治~昭和期に活躍

2019年のNHK大河ドラマ「いだてん~東京オリム





たが、

収入は十分でなかった。

次に家督を譲った。

実次は一家の大黒柱として農業で生計を立ててい

酒蔵業を廃業して長兄の実

父

の信彦は病弱だったため酒造りは断念し、

成績もよかったという。金栗家は代々続く老舗造り酒屋だったが、

活発に遊ぶ元気な少年となり、

幼少期は覇気が乏しく家族を心配させたが、成長するに従い友達と

小学校に通うようになってからは学業

けられたという。

生まれた。父の信彦が43歳の時の子だったため、「しそう」と名付 まれた熊本県春富村(現和水町中林)で八人兄弟の七番目の子として

金栗四三は明治二四年(一八九一)、福岡県との県境に近い山に囲

活発で利発な少年時代

実次は利発で努力家の四三の将

に学問をつけるために協力を惜 うと��咤激励した。家族は四三 なかから上級の学校に進ませよ 来性を見込んで、家計が厳しい

住居の一部を改造して

家族の結

前列右から二番目が四三。中央列左から 母シエと父信彦、祖母、後列右が兄の実次

両親・家族と

が四三を奮い立たせた。 勉強部屋を設けた。

東京高等師範学校に入学して長距離

るため、 格となってしまう。四三は大きく落ち込み、エリ が目に支障があることを指摘され、あえなく不合 たため合格の自信はあったが、身体検査で軽微だ けの進路だった。学科試験を受けて出来が良かっ 問を続けられ、 学費がかからず、 隊を讃美し、四三も例外ではなく軍人に憧れてい ト軍人の夢は潰えてしまった。 を養成する海軍兵学校を受験した。海軍兵学校は た。旧制玉名中学校の四年生の時に、海軍の幹部 国のロシアに勝利し、国中が戦勝に酔い 明治三八年(一九〇五)、日本は日露戦争で大 四三にとっては家計に負担をかけずに学 さらに将来が約束された打ってつ 卒業後は出世の道が開かれてい しれて軍

旧制玉名中学校(現在の熊本県立玉名高校)に転

取り組みを評価し、中学校に転入することを勧め を教えていた教師たちは、四三の学業への熱心な むためには中学校で学ばなければならない。四三 訓練学校的な役割の学校だった。高校や大学に進

教師の後押しで、明治三八年(一九〇五)に

学校と中学校に進路が分かれ、

高等小学校は職業

尋常小学校を卒業した四三は、高等小学校に進

走に開眼

は尋常小学校を卒業すると、

高等

努力が報われ特待生に

入した。住まいから中学校までは片道三十キロあ

て往復した。そのため、長距離を走っても疲れな

寄宿舎生活となったが、

休日には山道を走っ

い呼吸法やフォームを体得することができた。中

の筑波大学)を受験し、 ために東京高等師範学校(略称:東京高師・現在 があるものの、失敗は許されないため、腕試しの 業の幹部に登用される。四三は学科試験には自信 材育成機関として設立され、卒業後は軍や軍需産 学費は公費負担で、日本の大陸進出に際しての人 本の私立学校・東亜同文書院だった。この学校も 海軍の次に目標に定めたのは、上海にある日 東京高師にも入れない。 東京高師に決めないで東亜同文書院を落ち 東京高師への入学を強く勧められた。 合格した。 進学できなくなっ すると、 兄の

二学年に進級する際には成績優秀で授業料免除の

を目標に掲げて勉学に励んだ。その甲斐があって、 学校では、学業を身に付けて社会で大成すること

特待生に選ばれ、

家族と喜びを分かちあった。

逆らえず、やむなく東京高師に進むことにした。 てしまうことを懸念したのだ。四三は大陸に渡って の立身出世を夢見ていたが、父親代わり の長兄には

奨励し、 出場二回目で上級生にも勝り三位になった。この走 ンピック委員会委員になった人物だ。嘉納は体育を 的な考えを取り入れて再編し、講道館柔道を創設す の道が開かれるのである。 るとともに、明治四二年にはアジアで初の国際オリ は開明的な思想を持っており、 長は講道館柔道の創立者・嘉納治五郎だった。 単身で上京し、東京高師に入学した。東京高師の校 りが嘉納校長の目にとまり、 明治四三年(一九一〇)、四三は郷里の熊本から 少年時代から山野を走り通学していた四三は 学内の長距離競走大会が毎年二回行われて 後にオリンピック出場 伝統的な柔術を合理 嘉納



嘉納治五郎 (1860~1938)

四三にオリンピックの道を拓いた生涯の恩師。独自の柔 道を作り上げた嘉納は教育者としても尽力し、日本のス ポーツ会の道を開き、日本人初のIOC(国際オリンピック 委員会)委員となり、ストックホルムオリンピックでは団長 として参加し、1940年の東京オリンピック(後に戦争の激 化により返上)招致に成功した。

生家の勉強部屋

金栗家の建物は酒樽を置けるように玄関が 広かったため、その一角に「学校部屋」と家 族が呼んでいた小部屋があった。二畳ほど の板張りに文机が置かれ、四三は勉学に 励んだ。



idaten

が追いつき、

つけていく 本格的にマラソンを始め、 実力を

里(約7.キロ)を毎日走り続けた。この成果 理(約3.キロ)をゆっくり走るだけで、 四三の名は知れ渡るのだった。 遂げた。長距離走の有力選手として、 はすぐに出て、 舎のある大塚から王子の飛鳥山までの往復二 間以上早く起き、自主練習を開始した。寄宿 決まっている起床時間の午前六時よりも一時 は物足りなさを感じていた。四三は寄宿舎で に入部し、 は、長距離走など陸上競技を練習する 学内の長距離競走大会で上位に入った四三 さらに秋の大会でも優勝する快挙を成し 本格的に長距離走の練習に取り組 徒歩部の練習は放課後に往復 春の校内長距離走大会で優勝 学内に 四三

なった。 る競技とい る人はごく少数で、 される第五回オリンピックに出場することに スウェーデンの首都・ストックホルムで開催 を示そうとの思惑があったのだろう。日本は ツ競技に積極的に参加し、国際社会で存在感 参加する気運が盛り上がっていた。近代スポー 明治四十年代には、 明治時代の日本ではスポー っても陸上競技くらいのもので オリンピックに参加でき 日本がオリンピックに ツに携わ



オリンピック国内予選の

折り返し地点からは、先頭を走る二人に四三 焦らずに適度なペースを保っていた。中間の 及ぶ距離を走ったことがないので、 れ、徒歩部の橋本三郎と野口源三郎も参加す 志を高く持つことは素晴らしいと賛成して 高師徒歩部の仲間に選考会のことを話すと、 選考会では四十キロ以上とさらに長い距離を 走大会は六里(二十三・六キロ)を走るが、 が決まった。四三は選考会で自分がどれ位走 れるのか試してみたかった。秋の校内長距離 ハイペースで走る選手がいる中、四三たちは 選考会の参加者は十二名で、 挑戦したい気持ちになっていた。東京 四三は今まで四十キロを走ったことが スだった。参加者全員が四十 人の選手を抜き、 小雨と寒風の中 二番に付けた。 序盤から キロに

のレ

ることとなった。

優勝カップ

追い抜いてトップに躍り出る。無我夢中で走 がらも、羽田運動場のトラックに入る直前で 四三が履いて 抜けてゴー いた足袋は破れて裸足で走りな プを切るや、そのまま地

見事に優勝

オリンピック日本代表選考会で

明治四四年(一九一一)十一月に、第五回

-ックホ

ルムオリンピックに出場する日本

秒で、 四三が出したタイムは二時間三十二分四十五 舞台で結果を出す自信が無かったのである。 と大騒ぎになっていたのだ。しかし、四三は 注目を浴び、日本が初めて出場するオリンピッ 心に決めていた。日本中が期待する中での大 を大幅に短縮しており、 クでの金メダル獲得に大きな期待がかかった。 日本の陸上競技は発展途上で、世界のレベ リンピック出場には消極的で辞退しようと 過酷なレ 当時の世界記録二時間五十五分十八秒 ースで優勝した四三は一躍大きな 大変な逸材が現れた

走る。

在の羽田空港のある場所)で開催されること 代表選手を選ぶ選考会が東京・羽田運動場(現

出し切れるのかは未知数だ。四三は勝算が薄 手に経験が乏しいマラソンでは自分の実力を は当然である。 どのような走りをすればよいか不安になるの らといって、 ルがどの程度か皆目見当がつかないのでは、 いことを感じ取っていたのか 異国でトップレベルの選手を相 国内大会で好記録を出したか



オリンピック国内予選会優勝記念 (51 番が四三)



国内予選でゴールを切る瞬間の四三



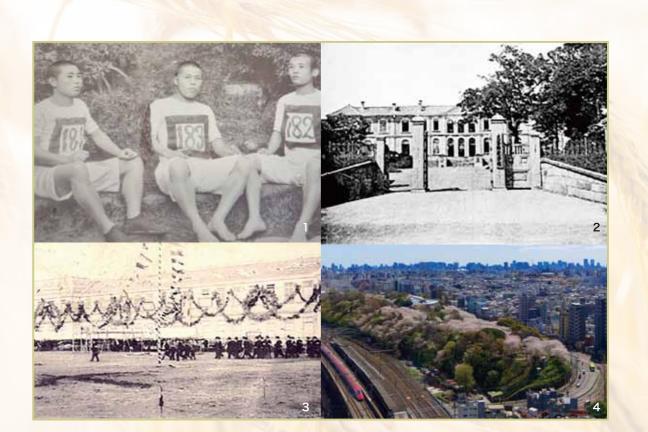
中沢臨川

(なかがわりんせん) 1878~1920 明治37年(1904)に京浜 電気鉄道の技師長を務 めていた時、羽田運動場 の建設に尽力する。晩年 は郷里の長野県で会社 経営の傍ら文学評論家と して活躍。

羽田運動場と羽田空港

面に座り込んでしまった。

羽田運動場は明治44年(1911)に現在 明治35年(1902)に京浜電気鉄道(現在 の京浜急行)が穴守(あなもり)稲荷神 社の付近まで鉄道を延長し、穴守稲荷 神社駅を開業した。鉄道開業に合わせ て沖合を埋め立て、野球場や自転車練 習場などの運動施設が造られた。オリン ピックの予選会は自転車練習場を400m トラックに改修し、簡易的なスタンドを設 置した急造の競技場で行われた。



- 1.《高師で徒歩部に入部した頃の四三》四三は入学前から走ることには自信があったので、徒歩部を選択する。
- 2. 東京高等師範学校正門 /3. 東京高等師範学校大運動会 / 4. 《飛鳥山公園の全景》起伏のある山道は四三 の練習コースとなっていた(東京都北区)







堂々と入場行進 「NIPPON」のプラカー K 掲げ

出発した。嘉納や多くの仲間に見送られて、 付を募り、 師寄宿舎の仲間が同窓生に広く呼びかけて寄 二十円)を工面しなければならない。東京高 費等総額千八百円(当時の教師の初任給は約 にストックホルムに到着した。 敦賀から船でウラジオストクに渡り、 となってしまった。船賃などの交通費、宿泊 財政が厳しく、 費は政府の負担だったが、 ア鉄道でロシアを縦断し十七日後の六月二日 考えていなかった。当初の予定では、遠征 の、ストックホルムに遠征する費用のこと 金栗四三はオリンピック出場を決心したも 千五百円を集め、残りを兄の実次 明治四五年五月十六日に新橋駅を 渡航費は出場選手の自己負担 日露戦争の影響で

の足袋はゴム底の採用などで進化を遂げ、後は意に介さず黙々と走り続けた。マラソン用

「金栗足袋」の製品名で広く普及する。

な形のシューズに好奇の目を向けたが、

四三

底に縫い付け耐久性を高めたマラソン用の足

コースを走る。外国人選手は奇異

習に励んだ。当時の日本には欧米のようなラ

一カ月以上の準備期間があり、四三は日々練

マラソン競技は七月十四日に行われるので、

ンニングシューズは無かったため、

厚い布を

記が決まった。 ば、外国の選手や観客も日本を認識してくれ いていた嘉納は、「NIPPON」と表記すれ 中で議論になった。四三は漢字で日本と書き るはずだ、と折衷案を出し、プラカー きだ」と異議を唱える。二人のやり取りを聞 ドの国名をどう表記するかについて選手団の ましょうと主張し、監督の大森兵蔵は「外国 人にもわかるように英語でジャパンと書くべ 開会式を間近に控え、日本の入場プラカ - ドの表

二千人以上が行進した。大観衆の歓声に包ま 島弥彦の二選手と嘉納などの関係者を含め ンピックの開会式が挙行され、各国の選手団 もわずか六名での行進であった。 明治四五年七月六日、 日本は四三と短距離走に出場する三 スト ッ クホルムオリ

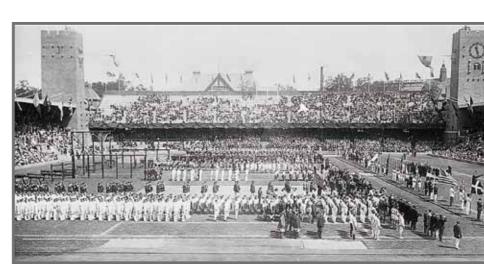
(次号に続く)



する。 に反して、 はよくわかるが、すぐに結論を出さず、 を吐露した。嘉納は四三の不安になる気持ち れは大変名誉なことであり、 ラソン選手として出場するように伝えた。 のと思っていた。ところが、四三は嘉納の意 ストックホルムで開かれるオリンピックの しかかり、その重圧には耐えられないと心情 してほしいと翻意を促すのが精一杯だった。 日を改めて嘉納は再度オリンピック出場を 出場すれば金メダルの期待が大きくの 困惑した表情で辞退の言葉を口に 嘉納は四三に今夏 当然快諾するも 再考

本が近代国の仲間入りをするために自分が礎 ではないかと考えるようになっていった。日 オリンピックの出場は自分に与えられた使命 明期の先駆けとなってくれないかと説得を続 台で力の限り走り抜くことを誓ったという。 嘉納に深々と頭を下げ、 の役割を果たそうと出場することを決意する。 機会を永遠に逃してしまう。日本スポーツ黎 勝つのは難しいが、 の現状では欧米諸国とスポーツで競い合って は四三に真剣に向き合って語りかけた。日本 打診するが、四三の答えは変わらない。嘉納 尊敬する師の熱意に、四三は心を動かされ、 参加しなければ強くなる オリンピックの大舞

第5回 ストックホルムオリンピックの開会式

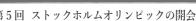


ストックホルムオリンピック大会ポスター

輪出場を決意

嘉納の説得に心を動かされ、

五





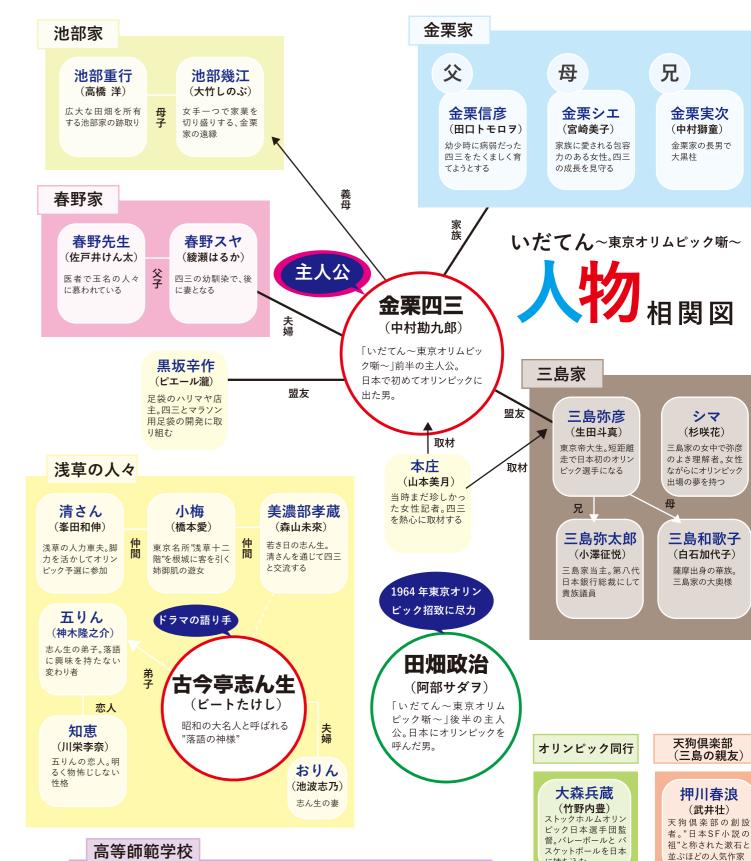
NIPPON のプラカードを持って入場行進する四三。 旗手は三島弥彦。



金栗四三の年譜

1891年(明治24年) 8月20日 熊本県玉名郡春富村中林(三加和町→現・和水町)に、父・信彦と母・シエの七番目の子と して誕生 1897年(明治30年) 4月 玉名郡春富村吉地尋常小学校に入学 4月 玉名北高等小学校に入学(大原村相谷)。往復12キロを走って通う 1901年(明治34年) 3月4日 1905年(明治38年) 父・信彦、56歳で死去 4月 熊本県立玉名中学校に進学。 1906年(明治39年) 4月 学業優秀で特待生に推挙される 1909年(明治42年) 9月 海軍兵学校の一次試験身体検査で、結膜炎のため不合格 12月 東京高等師範学校(現・筑波大学)に合格 1910年(明治43年) 4月10日 東京高等師範学校に入学 校内長距離競争で600人中25位になる 春 10月 校内長距離競争で3位入賞 4月 東京高等師範学校本科へ進学。徒歩部に入部 1911年(明治44年) 春 校内長距離競争で初優勝 2月15日 大日本体育協会とJOCにより、短距離で三島弥彦、マラソンで金栗四三が初の日本代表 1912年(明治45年) 選手として推薦される 3月 代表を固辞するも、嘉納会長の説得で参加を決意する 5月5日~7月27日 第5回オリンピックストックホルム大会開催 第5回オリンピックストックホルム大会開会式。黒足袋姿の四三は「NIPPON」のプラカー 7月6日 ドを掲げて入場行進 マラソン競技に出場するが、途中棄権 7月14日 「第2回日本陸上競技選手権大会」マラソンを2時間19分30秒の驚異的な世界最高記録 11月22日 1914年(大正3年) (非公認)で二連覇 「第3回日本陸上競技選手権大会 | マラソンで三連覇。大日本体育協会功労賞を受章する 11月20日 1915年(大正4年) 4月 神奈川県師範学校にて教鞭を取る 1916年(大正5年) 5月 熊本県菊池で徴兵検査を受けるも、第一乙種で兵役免除 明石和衛との共著で「ランニング」を菊屋出版部より上梓 9月 駅伝の始まりとされる「奠都50周年記念東海道五十三次駅伝競走」を開催 4月27日~29日 1917年(大正6年) 2月14日~15日 第一回東京箱根間往復大学駅伝競争(箱根駅伝)が開催 1920年(大正9年) 4月 オリンピック・アントワープ大会の国内予選で優勝し、二度目の代表に選出される 第7回オリンピックアントワープ大会開催 4月20日~9月12日 マラソン競技に出場し16位 8月22日 1924年(大正13年) オリンピック・パリ大会の国内予選で優勝し、3度目の代表選手に選出される 5月 5月4日~7月27日 第8回オリンピック・パリ大会開催 マラソン競技に出場するが途中棄権。帰国後、現役引退を決意する 7月12日 1930年(昭和5年) 東京女子師範学校を辞職 3月 7月 急性肺炎で長兄・実次が死去 1931年(昭和6年) 8月 東京高師後輩の栗本善彦と九州を一周。20日間で走破 1936年(昭和11年) 12月 嘉納治五郎の要請を受け、東京オリンピック開催準備のために上京 1947年(昭和22年) 熊本にて、第一回金栗朝日マラソン(現・福岡国際マラソン)開催 12月7日 1962年(昭和37年) 12月 玉名市名誉市民に 第18回オリンピック・東京大会開催 10月10日~24日 1983年(昭和58年) 92歳で死去 11月13日

idaten



に持ち込む

大森安仁子 (シャーロット・ケイ

ト・フォックス) ムに同行し、四三や三 島に英語やテーブル マナーを指導

内田公使 (井上肇)

駐スウェーデン公

中沢臨川 (近藤公園) 工学博士。羽田に日

本初の本格的な陸 上グラウンドを建設

吉岡信敬 (満島真之介) ヤジ将軍のあだ名

美川秀信 (勝池 涼)

学生 (四三の仲間)

東京高師の同級生 玉名からの幼馴染

野口源三郎 (永山絢斗)

東京高師の後輩。アン

トワープオリンピック 代表選手で主将

永井道明 (杉本哲太)

東京高師教授。ヨー ロッパから体操を 持ち込む

教員

可児 徳 (古館寛治)

東京高師助教授。 徒歩部部長として 四三を指導

アジア初のIOC委員で"日本 スポーツの父

嘉納治五郎

(役所広司)

生涯の恩師

使として、日本選 手団をサポート

を持つ、日本初の 応援団長

10

シリーズ 群馬の芸術家 🕄

81歳現役、山岳写真への情熱

元群馬県立近代美術館学芸員 染谷 滋

カムチャッキーの巨人

○年までは旧ソ連の軍事拠点として、西側の外国 は入国するのもそれほど困難ではないが、一九九 リル列島)を飛び石のように進んだ先にある。今で ロシアの領土で、根室から千島列島(ロシアではク 人は立ち入れない場所だった。 カムチャッカ半島は、北海道の北東に位置する

行に入山許可が下りた。カムチャッカ半島最高峰 ない歴史的快挙であった。 クリュチェフスカヤへの登頂は、登山史にとどまら かけ、橋本勝が属する東京雲稜会を中心とした一 その禁断の地に、一九九一年の四月末から五月に

からだ。橋本の写真には、旧ソ連時代の人々の暮ら 暮れ、二〇世紀の歴史を動かしたソ連が崩壊した 見せるクリチェフスカヤとカミンの双峰だけでな し記録したのには大きな意味があった。その年の く、途中の村々でロシアの人々の生活の様子を撮影 と、大自然の変わらぬ姿が写されている。 山岳写真家を名乗る橋本が、圧倒的な美しさを

山岳写真家への道

生を導 生まれた。叔父が趣味で猟をやっていたのに連れ橋本勝は一九三七年一〇月二五日に東京の両国に にも入り、山と写真に親しんだことがその後の人 のが橋本の役目だった。岩場や沢はもちろん、雪山 歩き回ったという。捕った獲物の記録写真を撮る られて、越後湯沢や丹沢の山中を小学生の頃から

の草分けとして知られる田村栄の薫陶を受けてい 名会などで写真の技術を磨き上げた。昆虫写真家 二〇歳を迎える頃に羽田フォトクラブや蒲田無

会が山登りの精神と技術を鍛えたようだ。 鋼㈱でも山岳部に所属したが、東京雲稜会への入 登山の方は、大学はもちろん入社した日本特殊

岳小説『神々の岩壁』のモデルにもなった人物だ。 プである。リ 岩の正面壁をはじめて登り切った伝説的なグル 東京雲稜会は、一九五九年に谷川岳一ノ倉沢衝立 -ダーの南博人は、後に新田次郎の山





だということだ。スターを求めるのは世間一般の傾

あくまでもパーティーが一つになって行う団体行動

断っておかなければならないのは、山岳登山は

れ、今年の春の叙勲では、旭日単光章が贈られた。

技術者集団をリ

している。その功績が認めら

技術開発だけでなく人材育成を目指して前橋の

カムチャッカ半島での登山行も、隊長は南博人だっ

「より困難を求めて、より高きへ」と答えている。 いかにも登山家らしい答えだ。 実業家としての経営理念を聞かれた橋本は

本が山岳登山で学んだこともこれだった。

ものづくり、ひとづくり

りでは大きなプロジェクトの実現は出来ない。橋 向ではあるが、人にはそれぞれの役割があり、ひと

た鍛錬がカムチャッカへの招待に繋がった。 東京雲稜会の思い出の場所だ。その途切れなかっ は幾度も通った。「魔の山」とも呼ばれる谷川岳は、 仕事に集中していた一九八〇年代にも、谷川岳に

ている。 年から副会長、二〇二三年にはついに会長に就任し 一九四六年に誕生した歴史ある団体だ。二〇〇六 写真協会は、戦前の東京山岳写真会を前身として の両毛支部を結成して支部長を務めた。日本山岳 となっていた橋本だったが、一九八二年には同協会 早くも一九六六年から日本山岳写真協会の会員

常設ギャラリ 谷川温泉・旅館たにがわ内、入場無料)を訪れるこ されている谷川岳フォトギャラリ 大きな印画紙に焼き付けられた生の写真が展示 ッターチャンスを掴んだ美しい写真集だが、直接 岳を知り尽くし、数限りない登山でわずかなシャ とをお勧めしたい。そこは、谷川岳を愛した橋本の 二〇一〇年、写真集『谷川岳』が発行された。谷川 となっている。 -(みなかみ町

写真は趣味として、仕事に集中する道を選ぶ。

づくりが大好きだという橋本の人生はひとつだ。

一時はプロの写真家になる道も考えたが、もの

二年の札幌冬季オリンピックでもカメラマンとし 本が隊長を務める七名のパーティーで登頂。一九七

一九七〇年には台湾の玉山(旧名・新高山)に、橋

て活躍する。

生地から取られた。医療器機の駆動部品や金型の

は、一九六九年一月、蔵前産業㈱を日本橋に設立し

日本特殊鋼㈱で開発業務を手掛けていた橋本

た。まだ三一歳の若さで、「蔵前」と言う名は橋本の

加工を行う会社で、ものづくりにこだわる技術者

集団だった。

真もまだまだ現役である。 られている。橋本勝の最新作だ。八一歳。仕事も写 今回の展示で、アラスカのオ -ロラの写真が飾

品の開発まで、扱う範囲は幅広い。

委員会を母体として「ものづくり指南塾」を発足。

二〇〇九年五月、前橋商工会議所のものづくり

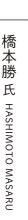
部品をはじめ、半導体装置や宇宙でも使われる部

人が病院で世話になっているCTやMR

などの

置。翌年三月には本社も前橋に移転した。多くの

一九七三年八月、蔵前産業は前橋市に工場を設





日単光章受章。著書・写真集多数。 続け、今日に至る。平成25年に日本 和32年羽田フォトクラブ入会。本格 昭和12年(1937)生まれ。前 的に写真を撮り始める。会社経営の 全国の山々を踏破するとともに 市在住。東京都岳連の東京雲稜会で 山岳写真協会会長に就任。平成30年 かたわら、国内外の山岳風景を撮り 小企業振興功労が認められ、旭

橋本勝谷川岳フォトギャラリ

所在地 〒379 入場無料 開館時間 9時~21時群馬県谷川温泉 旅館たにがわ内

群馬県利根郡みなかみ町

する谷川岳。その表情を撮り寄せつけない厳しい山に変化 続けた橋本氏の傑作を展示 美しいのみならず、時には人を



雲を巻くクリュチェフスカヤ

フォトギャラリー

谷川岳

朝日に燃えるマナイタグラ

写真の中央から左寄りがマナイタグラ。 白銀の尾根筋が朝日を浴びて赤く染まる。 (「谷川岳 橋本勝写真集」より)

谷川岳

谷川岳はトマノ耳(標高1,963m)、オキノ耳(標高1,977m)の二峰の総称。元々は隣接する 俎嵓(マナイタグラ)が谷川岳と呼ばれていたが、ロープウェイがトマノ耳至近の天神平まで開通するとトマ・オキの二つ耳が谷川岳と呼ばれるようになったとする説がある。一ノ倉沢などの周囲の岸壁や山域も含めて谷川岳と呼ぶこともある。変化に富む登山コースが複数あり、初級者から上級者まで年間4万人を越える登山者が訪れる山でありながら、危険個所の多さと急激な気候変化が影響し、遭難者の多い「魔の山」としても知られている。



再生可能エネルギーを利用し

た発電



平成29年5月に完成した小水力 選ばれている箱島湧水を利用し で約1万2千トンと推定されて 二酸化炭素の削減効果は20年間 地球温暖化防止に寄与しており、 ネルギーを利用した発電のため、 がほぼ一定して湧出しており、年 ています。一日に約三万トンの水 発電設備です。日本の名水百選に することができます。再生可能エ 間を通じて安定した電力を供給

東吾妻町の箱島湧水発電所は、

り、東吾妻町は3月にヤマトが全 社会資本整備) 方式を採用してお 間の資金やノウハウを活用した 事業者の力を活用するPF す。この事業は、公共事業に民間 で25mプー 量は毎秒0・2783㎡(約2分 (25階建てビルに相当)、平均流 20軒分の発電量に当たる 発電所の最大出力は一般家庭 .0kw、有効落差は82.1m ルが満杯になる)で · 民

20年間にわたって売電収入の一部 保証されており、東吾妻町は発電 可能エネルギー固定買取制度)で を受け取ります 所の無償譲渡を受けるとともに、 年間は、売電価格がFIT(再生 持管理・運営業務は㈱ヤマトに業 箱島湧水発電所の設計・建設・維 発電事業で契約を締結しました。 務委託されています。通電から20 額出資した特別目的会社(SPC) 箱島湧水発電PF―(前橋市)と



東吾妻町箱島湧水発電所のご案内





名水百選の碑

東吾妻町周辺の観光スポッ

新設取水口 お客様 の声

大塚徹也 様 東吾妻町役場東支所 係長

心強く思っています。 建設から運転まで大変お世話になり、 学者が訪れています。ヤマトさんには 調に稼働しており、再生可能エネルギ はないかと思っています。発電所は順 識が乏しく、事業化は難しかったので 現できたもので、当町単独では専門知 た。今回の事業はPF-のおかげで実 に完成し、6月から売電を開始しまし 業を進めていました。平成29年5月 可能エネルギー普及のための調査事 は、再生可能エネルギーの拡大を目指 た。箱島湧水発電所の建設にあたって に利用したいという話が出ていまし 以前から、当町では箱島湧水を発電 を利用した発電所の事例として、見 T法を追い風に、群馬県の再生

箱島不動尊



噂きだした溶岩を、川水が深

な趣があります。







岩櫃山

岩井親水公園

ラッパ水仙の産地であり、 東吾妻町は、全国でも有数の

吾妻峡 国指定名勝

った山容は、中国の南画のよう 壁。奇岩、怪石からなる切り 地として知られています。南で、吾妻八景を代表する景勝 標高802メー 面は約200メー 岩櫃山(いわびつやま)は トルの岩山 トルの絶

る雁ガ沢橋から八ツ場大橋ま

吾妻渓谷は、吾妻川に架か

にる渓谷です。大昔に火山が

の約3.5キロメ

ルにわ

水仙が咲き、 脇の畑には約30万本のラッ の花が咲き誇ります。 上旬~中旬頃には町中で水仙

及ぶ桜並木が続いています。 中でも岩井地区の親水公園 m に も



